

おく
一億をこえる数

4年 組 名前

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 たけるさんは、「五億^{おく}四百万」を数字で書きました。

たける 五億^{おく}の5と、四百万の4を書いて、間に0をならべればいいね。5004000 と書きました。

(1) たけるさんの書き方はまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア 五億^{おく}は500000000なので、0が1つ多い

イ 四百万は40000なので、答えは5040000になる

ウ 五億^{おく}は500000000、四百万は4000000だから、あわせると9けたになるのに、けた数がたりない

答え

(2) 正しい数を数字で書き、なぜその数になるのかを「位」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

位

2 あかりさんは、「80億^{おく}を10でわった数」を8000万と答えました。

(1) 正しい答えを、ア～ウから1つ^{えら}選びましょう。

ア 8億^{おく} イ 800億^{おく} ウ 8000億^{おく}

答え

(2) 7000億^{おく}を10倍した数を、兆^{ちよう}を使って書きましょう。

一億をこえる数

4年 組 名前

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 たけるさんは、「五億^{おく}四百万」を数字で書きました。

たける 五億^{おく}の5と、四百万の4を書いて、間に0をならべればいいね。5004000と書きました。

(1) たけるさんの書き方はまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア 五億^{おく}は500000000なので、0が1つ多い

イ 四百万は40000なので、答えは5040000になる

ウ 五億^{おく}は500000000、四百万は4000000だから、あわせると9けたになるのに、けた数がたりない

答え ウ

(2) 正しい数を数字で書き、なぜその数になるのかを「位」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば 位

正しい数は504000000です。五億^{おく}は一億^{おく}の位が5、四百万は百万の位が4になります。数のない位には0を書くので、9けたの数になります。

2 あかりさんは、「80億^{おく}を10でわった数」を8000万と答えました。

(1) 正しい答えを、ア～ウから1つ^{えら}びましょう。

ア 8億^{おく} イ 800億^{おく} ウ 8000億^{おく}

答え ア

(2) 7000億^{おく}を10倍した数を、兆^{ちよう}を使って書きましょう。

7兆^{ちよう}

考え方

大問1 五億^{おく}四百万は、一億^{おく}の位に5、百万の位に4。間の位は0で504000000です。

大問2 10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がります。

折れ線グラフ

4まい目 あらわす 式と言葉で表現する

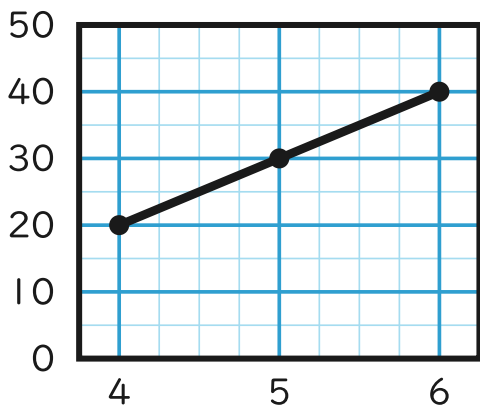
1 2 3 4 めやす 15分

1 2つの小学校の図書の貸し出し数を、それぞれ折れ線グラフに表しました。

図書の貸し出し数の変わり方

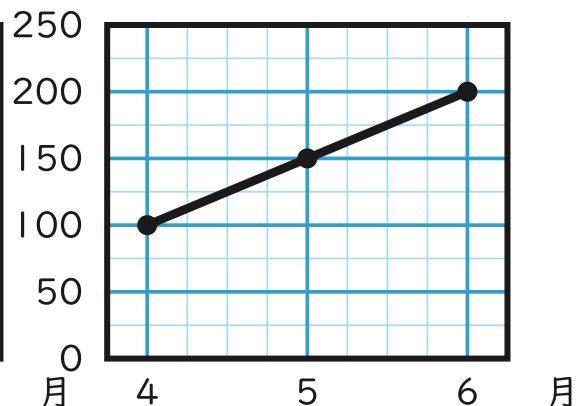
あおば小学校

(さつ)



ひばり小学校

(さつ)



たける 2つのグラフは線のかたむきが同じだから、ふえ方も同じだね。

(1) たけるさんの考えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア あおば小学校のグラフのほうが、点が多いから

イ 2つのグラフは、よこのじくの月がちがうから

ウ 2つのグラフは、たての1目もりが表す数がちがうから

答え

(2) 4月から6月までにふえた数を求め、ふえ方が大きいのはどちらかを「1目もり」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

1目もり

折れ線グラフ

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

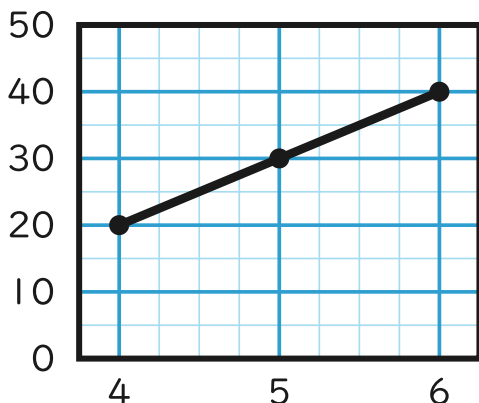
1 2つの小学校の図書の貸し出し数を、それぞれ折れ線グラフに表しました。

図書の貸し出し数の変わり方

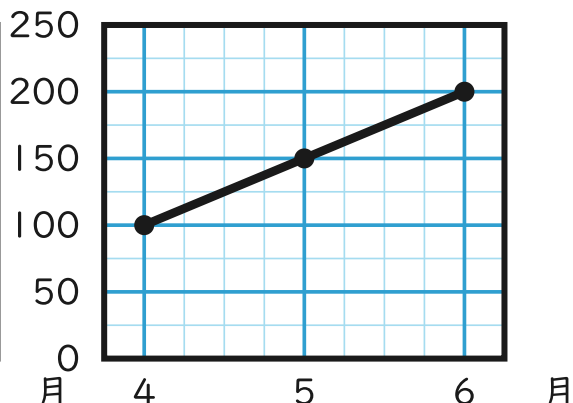
あおば小学校

ひばり小学校

(さつ)



(さつ)



たける 2つのグラフは線のかたむきが同じだから、ふえ方も同じだね。

(1) たけるさんの考えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア あおば小学校のグラフのほうが、点が多いから

イ 2つのグラフは、よこのじくの月がちがうから

ウ 2つのグラフは、たての1目もりが表す数がちがうから

答え

ウ

(2) 4月から6月までにふえた数を求め、ふえ方が大きいのはどちらかを「1目もり」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

1目もり

あおば小学校は1目もりが10さつなので、20さつから40さつになり20さつふえました。
ひばり小学校は1目もりが50さつなので、100さつから200さつになり100さつ
ふえました。ふえ方が大きいのはひばり小学校です。

考え方

大問1 方眼の1マスは、あおばが5さつ、ひばりが25さつです。ふえ方は20さつと100さつ。

1けたでわるわり算の筆算

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 たけるさんは、 $612 \div 3$ の筆算をしました。

たける 百の位は $6 \div 3 = 2$ 。十の位の1は3でわれないので、そのまま一の位へ。
 $12 \div 3 = 4$ 。答えは24です。

(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

- ア わる数とわられる数を反対にしているから
- イ 十の位に0を書かなかったので、商のけた数が1つ少ないから
- ウ あまりを書いていないから

答え

(2) 正しい答えを書き、なぜその答えになるのかを「十の位」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

十の位

2 たけるさんの答えを、たしかめの式で調べます。

(1) 答えを24として、たしかめの式を書きましょう。

$3 \times 24 = 72$ となり、わられる数の①とちがうので、24はまちがいだと分かります。

①

3 商の十の位に0が立つ筆算を、ア～ウから1つ選びましょう。

- ア $936 \div 3$
- イ $852 \div 4$
- ウ $618 \div 6$

答え

1けたでわるわり算の筆算

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 たけるさんは、 $612 \div 3$ の筆算をしました。

たける 百の位は $6 \div 3 = 2$ 。十の位の1は3でわれないので、そのまま一の位へ。
 $12 \div 3 = 4$ 。答えは24です。

(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア わる数とわられる数を反対にしているから

イ 十の位に0を書かなかったので、商のけた数が1つ少ないから

ウ あまりを書いていないから

答え イ

(2) 正しい答えを書き、なぜその答えになるのかを「十の位」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

十の位

正しい答えは204です。十の位の1は3でわれないので、商の十の位に0を書きます。そのあと $12 \div 3 = 4$ を一の位に書くので、答えは204になります。

2 たけるさんの答えを、たしかめの式で調べます。

(1) 答えを24として、たしかめの式を書きましょう。

$$3 \times 24 = 72$$

$3 \times 24 = 72$ となり、わられる数の①とちがうので、24はまちがいだと分かります。

① 612

3 商の十の位に0が立つ筆算を、ア～ウから1つ選びましょう。

ア $936 \div 3$ イ $852 \div 4$ ウ $618 \div 6$

答え ウ

考え方

大問1 わられる数が3けたで、百の位に商が立つので、商も3けたになります。

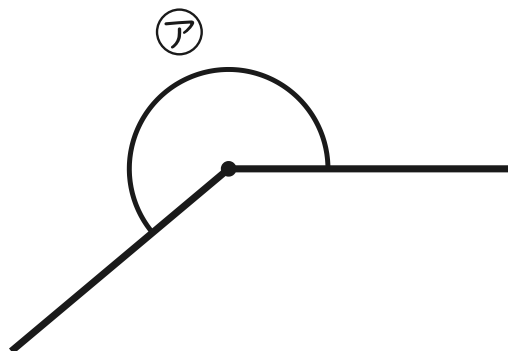
角とその大きさ

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 たけるさんは、アの角の大きさを分度器ではかり、 140° と答えました。

アの角



(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア 分度器の0の位置がずれていたから

イ 角の辺の長さがみじかいから

ウ 分度器は 180° までなので、アではないほうの角をはかったから

答え

(2) アの角の大きさを求め、その求め方を「 360° 」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

360°

2 角の大きさをまとめます。

1回転の角は① $^\circ$ 、半回転の角は② $^\circ$ です。

①

②

角とその大きさ

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

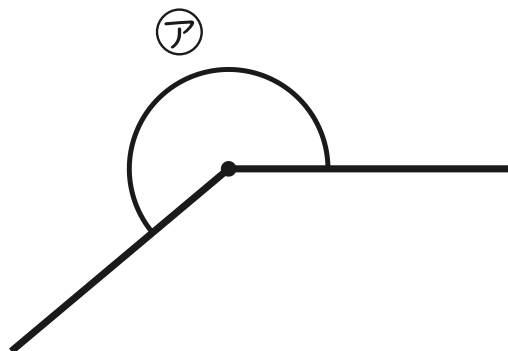
3

4

めやす 15分

1 たけるさんは、㊦の角の大きさを分度器ではかり、 140° と答えました。

㊦の角



(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア 分度器の0の位置がずれていたから

イ 角の辺の長さがみじかいから

ウ 分度器は 180° までなので、㊦ではないほうの角をはかったから

答え

ウ

(2) ㊦の角の大きさを求め、その求め方を「 360° 」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

 360°

㊦の角は 220° です。分度器ではかった 140° は、㊦ではないほうの角です。1回転は 360° なので、 $360 - 140 = 220$ で㊦の角の大きさが求められます。

2 角の大きさをまとめます。

1回転の角は① $^\circ$ 、半回転の角は② $^\circ$ です。

① 360

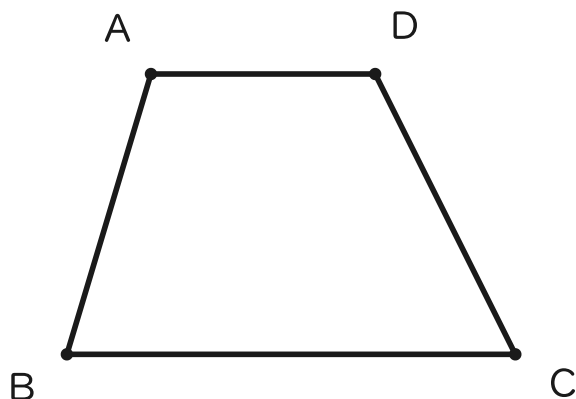
② 180

考え方

大問1 分度器で1回にはかれるのは 180° までです。のこりは 360° からひいて求めます。

1 たけるさんは、下の四角形ABCDを見て「これは平行四辺形だ」と言いました。

四角形ABCD（辺ADと辺BCが平行）



(1) たけるさんの考えは

まちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ^{えら}選びましょう。

- ア 4つの辺の長さがすべて等しくないから
- イ 平行四辺形は2組の辺が平行だが、この四角形は1組しか平行でないから
- ウ 2本の対角線の長さが等しくないから

答え

(2) この四角形の名前を書き、
平行四辺形とのちがいを「2組」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

2組

2 四角形の性質^{せいしつ}をまとめます。

ひし形の2本の対角線は①に交わります。長方形の2本の対角線の長さは②です。

①

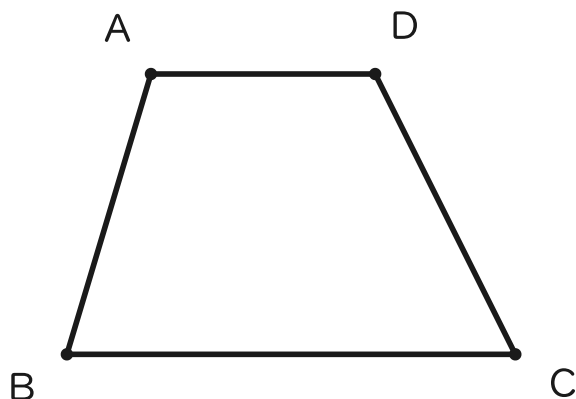
②

(1) 長方形は、平行四辺形の仲間といえますか。○か×で答えましょう。

(2) 台形は、平行四辺形の仲間といえますか。○か×で答えましょう。

1 たけるさんは、下の四角形ABCDを見て「これは平行四辺形だ」と言いました。

四角形ABCD（辺ADと辺BCが平行）



(1) たけるさんの考えは

まちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ^{えら}選びましょう。

ア 4つの辺の長さがすべて等しくないから

① 平行四辺形は2組の辺が平行だが、この四角形は1組しか平行でないから

ウ 2本の対角線の長さが等しくないから

答え ①

(2) この四角形の名前を書き、

平行四辺形とのちがいを「2組」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば 2組

この四角形は台形です。平行四辺形は向かい合った辺が2組とも平行ですが、台形は1組だけが平行です。だから、この四角形は平行四辺形ではありません。

2 四角形の性質^{せいしつ}をまとめます。

ひし形の2本の対角線は①に交わります。長方形の2本の対角線の長さは②です。

① ^{すいちよく}垂直

② 等しい

(1) 長方形は、平行四辺形の仲間といえますか。○か×で答えましょう。

○

(2) 台形は、平行四辺形の仲間といえますか。○か×で答えましょう。

×

考え方

大問1 平行な組が1組だけなら台形、2組なら平行四辺形です。

小数

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 たけるさんは、 $5-3.76$ の筆算をしました。

たける 右をそろえて書いて計算したら、答えは3.71になりました。

(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ^{えら}びましょう。

ア ひき算をたし算にしてしまったから

イ 5を5.00と考えて計算したから

ウ 小数点をそろえずに右をそろえて書いたので、位がずれているから

答え

(2) 正しい答えを書き、小数の筆算で気をつけることを「小数点」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

小数点

2 小数の筆算をまとめます。

小数の筆算では、位をたてにそろえるために①をそろえて書きます。整数の5は②と考えて計算します。

①

②

(1) $6.37-5$ を計算しましょう。(2) $4-1.5$ を計算しましょう。

小数

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 たけるさんは、 $5-3.76$ の筆算をしました。

たける 右をそろえて書いて計算したら、答えは3.71になりました。

(1) たけるさんの答えはまちがっています。まちがいの説明として正しいものを、ア～ウから1つ選びましょう。

ア ひき算をたし算にしてしまったから

イ 5を5.00と考えて計算したから

ウ 小数点をそろえずに右をそろえて書いたので、位がずれているから

答え ウ

(2) 正しい答えを書き、小数の筆算で気をつけることを「小数点」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

小数点

正しい答えは1.24です。小数の筆算では、小数点の位置をたてにそろえて書きます。5は5.00と考えて位をそろえると、 $5-3.76=1.24$ と計算できます。

2 小数の筆算をまとめます。

小数の筆算では、位をたてにそろえるために①をそろえて書きます。整数の5は②と考えて計算します。

① 小数点

② 5.00

(1) $6.37-5$ を計算しましょう。

1.37

(2) $4-1.5$ を計算しましょう。

2.5

考え方

大問1 5は5.00。小数点をそろえると、位ごとに正しく計算できます。

2けたでわるわり算の筆算

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 ゆうさんは、 $250 \div 40$ を、くふうして計算しようとしています。

ゆうま 両方とも10でわると $25 \div 4$ になるね。 $25 \div 4 = 6$ あまり1だから、 $250 \div 40 = 6$ あまり1だよ。

(1) ゆうさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア 商は6でよいが、あまりは10でわる前の大きさにもどさなければいけないから

イ 両方を10でわったので、商も10でわらなければいけないから

ウ $250 \div 40$ は、 $40 \div 250$ として計算しなければいけないから

答え

(2) $250 \div 40$ の正しい答えを、「たしかめの式」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば たしかめの式

(3) $360 \div 50$ の答えを書きましょう。

(4) (3) の答えをたしかめる式を書きましょう。

2 くふうして計算するときの気をつけ方をまとめます。①・②にことばを書きましょう。

わられる数とわる数を両方とも同じ数でわると、①は変わりませんが、②はわる前の大きさにもどします。

①

②

2けたでわるわり算の筆算

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 ゆうさんは、 $250 \div 40$ を、くふうして計算しようとしています。

ゆうま 両方とも10でわると $25 \div 4$ になるね。 $25 \div 4 = 6$ あまり1だから、 $250 \div 40 = 6$ あまり1だよ。

(1) ゆうさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア 商は6でよいが、あまりは10でわる前の大きさにもどさなければいけないから

イ 両方を10でわったので、商も10でわらなければいけないから

ウ $250 \div 40$ は、 $40 \div 250$ として計算しなければいけないから

答え ア

(2) $250 \div 40$ の正しい答えを、「たしかめの式」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば たしかめの式

$250 \div 40$ の商は6で、あまりは10になる。たしかめの式で調べると、 $40 \times 6 + 10 = 250$ となるので、この答えが正しいとわかる。

(3) $360 \div 50$ の答えを書きましょう。

7あまり10

(4) (3) の答えをたしかめる式を書きましょう。

$50 \times 7 + 10 = 360$

2 くふうして計算するときの気をつけ方をまとめます。①・②にことばを書きましょう。

わられる数とわる数を両方とも同じ数でわると、①は変わりませんが、②はわる前の大きさにもどします。

① 商

② あまり

考え方

大問1 $25 \div 4 = 6$ あまり1の1は、10でわる前では10にあたります。 $40 \times 6 + 10 = 250$ で確かめられます。

大問2 商は変わらず、あまりだけがもとの大きさにもどります。

式と計算の順じょ

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 りくさんは、 $12+8\times 3$ を計算しています。

りく 式は左から順に計算するから、 $12+8=20$ で、 $20\times 3=60$ だよ。

(1) りくさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア +と×がまじった式では、×を先に計算するから

イ +と×がまじった式では、()をつけてから計算するから

ウ $12+8\times 3$ は、 $12\times 8+3$ として計算するから

答え

(2) $12+8\times 3$ の正しい答えを、「計算の順じょ」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

計算の順じょ

(3) $15-6\div 3$ (4) $60\div (4+2)$

2 式のよみ方を考えます。①にあてはまる数を書きましょう。

$(80+20)\times 5$ という式は、80円と20円を合わせた1人分を①人分買ったときの代金を表しています。

①

式と計算の順じょ

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 りくさんは、 $12+8\times 3$ を計算しています。

りく 式は左から順に計算するから、 $12+8=20$ で、 $20\times 3=60$ だよ。

(1) りくさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア +と×がまじった式では、×を先に計算するから

イ +と×がまじった式では、()をつけてから計算するから

ウ $12+8\times 3$ は、 $12\times 8+3$ として計算するから

答え ア

(2) $12+8\times 3$ の正しい答えを、「計算の順じょ」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

計算の順じょ

計算の順じょでは、+と×÷がまじった式は×÷を先に計算する。だから $8\times 3=24$ を先に計算して、 $12+24=36$ になる。

(3) $15-6\div 3$

13

(4) $60\div (4+2)$

10

2 式のよみ方を考えます。①にあてはまる数を書きましょう。

$(80+20)\times 5$ という式は、80円と20円を合わせた1人分を①人分買ったときの代金を表しています。

① 5

考え方

大問1 () がなければ×÷が先。 $8\times 3=24$ を先に計算して $12+24=36$ です。大問2 () の中の $80+20=100$ が1人分。それを5人分なので×5と読みます。

割合（倍の見方）

4年組 名前

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

I ミニトマトのなえA・Bの高さを、先週と今週ではかりました。

しりょう
【資料】ミニトマトのなえの高さ

なえ	先週	今週
A	10cm	30cm
B	20cm	40cm

みお AもBも20cmずつのびているから、のび方は同じだよ。

(1) みおさんの考え方はふさわしくありません。理由をア～ウから選びましょう。

ア もとの長さの何倍になったかでくらべるから

イ のびた長さをたし算で求めているから

ウ 今週の高さをたしてくらべていないから

答え

今週の高さは、先週の何倍になっていますか。

(2) A (3) B

(4) どちらのほうがよくのびたといえますか。「倍」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

割合（倍の見方）

4年 組 名前

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

答え

1 2 3 4 めやす 15分

I ミニトマトのなえA・Bの高さを、先週と今週ではかりました。

【資料】^{しりょう}ミニトマトのなえの高さ

なえ	先週	今週
A	10cm	30cm
B	20cm	40cm

みお AもBも20cmずつのびているから、のび方は同じだよ。

(1) みおさんの考え方はふさわしくありません。理由をア～ウから選びましょう。

☒ ア もとの長さの何倍になったかでくらべるから

イ のびた長さをたし算で求めているから

ウ 今週の高さをたしてくらべていないから

答え ア

今週の高さは、先週の何倍になっていますか。

(2) A 3倍

(3) B 2倍

(4) どちらのほうがよくのびたといえますか。「倍」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば 倍

Aは $30 \div 10 = 3$ で3倍、Bは $40 \div 20 = 2$ で2倍になっている。もとの高さの何倍になったかでくらべると、Aのほうがよくのびたといえる。

考え方

大問I のびた長さはどちらも20cm。でもAは3倍、Bは2倍で、倍でくらべるとAが大きいです。

のび方をくらべるときは、のびた大きさのちがいでではなく、何倍になったかでくらべます。これが割合^{わりあい}の見方です。

面積

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

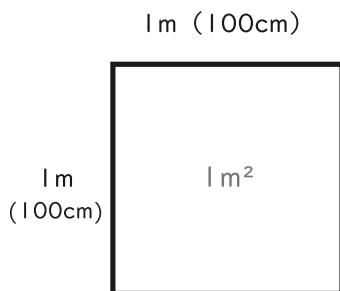
I かなたさんは、 1m^2 が何 cm^2 になるかを考えています。かなた 1m は 100cm だから、 1m^2 は 100cm^2 だよ。

(1) かなたさんの考えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア 1m^2 は1辺が 100cm の正方形の面積なので、 100×100 で求めるからイ 1m^2 は1辺が 10cm の正方形の面積なので、 10×10 で求めるから

ウ 面積は、たてと横をたして求めるから

答え

 1m^2 の正方形(2) 1m^2 が何 cm^2 になるかを、「1辺」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば 1辺

(3) $5\text{m}^2 = \square \text{cm}^2$ (4) $20000\text{cm}^2 = \square \text{m}^2$

面積

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

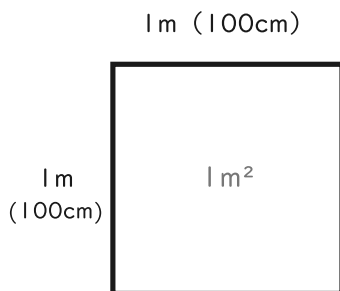
I かなたさんは、 1m^2 が何 cm^2 になるかを考えています。かなた 1m は 100cm だから、 1m^2 は 100cm^2 だよ。

(I) かなたさんの考えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

(ア) 1m^2 は1辺が 100cm の正方形の面積なので、 100×100 で求めるからイ 1m^2 は1辺が 10cm の正方形の面積なので、 10×10 で求めるから

ウ 面積は、たてと横をたして求めるから

答え ア

 1m^2 の正方形(2) 1m^2 が何 cm^2 になるかを、「1辺」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば 1辺

1m^2 は1辺が 1m の正方形の面積である。 $1\text{m} = 100\text{cm}$ だから1辺は 100cm になり、 $100 \times 100 = 10000$ で 10000cm^2 になる。

(3) $5\text{m}^2 = \square\text{cm}^2$ 50000(4) $20000\text{cm}^2 = \square\text{m}^2$

2

考え方

大問I 1m^2 は1辺 100cm の正方形。 $100 \times 100 = 10000$ で 10000cm^2 です。長さが 100 倍でも面積は 10000 倍になります。

5m^2 は $10000 \times 5 = 50000\text{cm}^2$ 。 20000cm^2 は $20000 \div 10000 = 2$ で 2m^2 です。

がい数とその計算

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 そうたさんは、38472を千の位までのがい数にしようとしています。

そうた 千の位までのがい数にするから、千の位の8を^{ししやごにゆう}四捨五入して40000だよ。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア 千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するからイ 千の位までのがい数にするときは、十の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するからウ 千の位までのがい数にするときは、一の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

答え

(2) 38472を千の位までのがい数にすると、いくつになりますか。「^{ししやごにゆう}四捨五入」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

^{ししやごにゆう}
四捨五入

52738をがい数にしましょう。

(3) 千の位まで

(4) 上から1けた

2

①にあてはまることばを書きましょう。

ある位までのがい数にするときは、その位の①の位を^{ししやごにゆう}四捨五入します。

①

がい数とその計算

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 そうたさんは、38472を千の位までのがい数にしようとしています。

そうた 千の位までのがい数にするから、千の位の8を^{ししやごにゆう}四捨五入して40000だよ。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

Ⓐ 千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

イ 千の位までのがい数にするときは、十の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

ウ 千の位までのがい数にするときは、一の位を^{ししやごにゆう}四捨五入するから

答え

ア

(2) 38472を千の位までのがい数にすると、いくつになりますか。「^{ししやごにゆう}四捨五入」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

^{ししやごにゆう}四捨五入

千の位までのがい数にするときは、1つ下の百の位を^{ししやごにゆう}四捨五入する。38472の百の位は4だから切り^す捨てて、38000になる。

52738をがい数にしましょう。

(3) 千の位まで

53000

(4) 上から1けた

50000

2 ①にあてはまることばを書きましょう。

ある位までのがい数にするときは、その位の①の位を^{ししやごにゆう}四捨五入します。

① 1つ下

考え方

大問1 38472の百の位は4なので切り^す捨てて38000。千の位を^{ししやごにゆう}四捨五入すると万の位までのがい数になってしまいます。

52738は百の位が7で切り^す上げて53000。上から1けたなら上から2けた目の2を切り^す捨てて50000です。

小数のかけ算とわり算

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 そうたさんは、13.6mのロープを3mずつに切って、なわとび用のロープを作ります。

そうた 13.6÷3を筆算でしたら、商が4であまりが16になったよ。だから4本とれて、16mあまるね。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア あまりの小数点は、わられる数の小数点にそろえてうつから

イ あまりの小数点は、わる数の小数点にそろえてうつから

ウ わり算のあまりは、いつも整数になるから

答え

(2) 正しい答えを、「あまり」「小数点」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

あまり

小数点

(3) 26.4mのロープを5mずつに切ると、何本とれて何mあまりですか。

式

答え

2 ①・②にあてはまることばを書きましょう。

わり算のあまりの小数点は、①の小数点にそろえてうちます。答えのたしかめは、わる数×商+②=わられる数でできます。

①

②

小数のかけ算とわり算

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 そうたさんは、13.6mのロープを3mずつに切って、なわとび用のロープを作ります。

そうた 13.6÷3を筆算でしたら、商が4であまりが16になったよ。だから4本とれて、16mあまるね。

(1) そうたさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア あまりの小数点は、わられる数の小数点にそろえてうつから

イ あまりの小数点は、わる数の小数点にそろえてうつから

ウ わり算のあまりは、いつも整数になるから

答え

ア

(2) 正しい答えを、「あまり」「小数点」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

あまり

小数点

あまりの小数点は、わられる数13.6の小数点にそろえてうつ。だからあまりは1.6mで、ロープは4本とれて1.6mあまる。

(3) 26.4mのロープを5mずつに切ると、何本とれて何mあまりますか。

式

26.4÷5

答え

5本とれて1.4mあまる

2 ①・②にあてはまることばを書きましょう。

わり算のあまりの小数点は、①の小数点にそろえてうちます。答えのたしかめは、わる数×商+②=わられる数でできます。

① わられる数

② あまり

考え方

大問1 3×4=12、13.6-12=1.6。あまりの1.6は、わられる数13.6の小数点の位置で決まります。16mあまると考えると、もとの13.6mより長くなっておかしいと気づけます。

大問2 5×5=25、26.4-25=1.4。たしかめは5×5+1.4=26.4です。

分数

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

- 1 はやとさんは、家庭科の時間に、ひもを $\frac{2}{5}$ m と $\frac{1}{5}$ m 使いました。合わせて何m使ったか考えています。

はやと $\frac{2}{5}$ m と $\frac{1}{5}$ m のひもを合わせるから、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{10}$ で $\frac{3}{10}$ m だと思う。

(1) はやとさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

- ア 分母は変えずに、分子だけをたすから イ 分子は変えずに、分母だけをたすから
ウ 分母も分子も、大きいほうの数にそろえるから

答え

(2) 正しい答えを、「分母」「分子」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

分母

分子

- 2 同じ分母のたし算・ひき算を練習します。

(1) $\frac{4}{9} + \frac{5}{9}$

(2) $2\frac{1}{6} - \frac{3}{6}$

(3) $\frac{5}{8} + \frac{5}{8}$

分数

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

- 1 はやとさんは、家庭科の時間に、ひもを $\frac{2}{5}m$ と $\frac{1}{5}m$ 使いました。合わせて何m使ったか考えています。

はやと $\frac{2}{5}m$ と $\frac{1}{5}m$ のひもを合わせるから、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{10}$ で $\frac{3}{10}m$ だと思う。

(1) はやとさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

- (ア) 分母は変えずに、分子だけをたすから イ 分子は変えずに、分母だけをたすから
ウ 分母も分子も、大きいほうの数にそろえるから

答え ア

(2) 正しい答えを、「分母」「分子」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

分母

分子

同じ分母のたし算では、分母はそのままにして分子だけをたす。だから $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は分母を5のままにして分子を $2+1=3$ とし、 $\frac{3}{5}m$ になる。

- 2 同じ分母のたし算・ひき算を練習します。

(1) $\frac{4}{9} + \frac{5}{9}$

$\frac{9}{9}$

(2) $2\frac{1}{6} - \frac{3}{6}$

$1\frac{4}{6}$

(3) $\frac{5}{8} + \frac{5}{8}$

$1\frac{2}{8}$

考え方

大問1 同じ分母のたし算は、分母をそのままにして分子だけをたします。 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は分母を5のままにして、分子は $2+1=3$ 。答えは $\frac{3}{5}m$ です。分母までたして10にしまうと、もとの長さより短くなりおかしいと気づけます。

大問2 $2\frac{1}{6}$ は $\frac{13}{6}$ 。 $\frac{13}{6} - \frac{3}{6} = \frac{10}{6} = 1\frac{4}{6}$ 。 $\frac{5}{8} + \frac{5}{8} = \frac{10}{8} = 1\frac{2}{8}$ になります。